



## 2024年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月12日

上場会社名 株式会社メディア工房 上場取引所 東  
コード番号 3815 URL <http://www.mkb.ne.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長沢 一男  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 長沢 和宙 (TEL) 03-5549-1804  
四半期報告書提出予定日 2024年4月12日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年8月期第2四半期の連結業績(2023年9月1日~2024年2月29日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第2四半期	1,038	1.0	△1	—	△3	—	△8	—
2023年8月期第2四半期	1,028	△9.0	30	△74.5	25	△77.1	18	△80.7

(注) 包括利益 2024年8月期第2四半期 △8百万円(—%) 2023年8月期第2四半期 18百万円(△80.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第2四半期	△0.88	—
2023年8月期第2四半期	1.80	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第2四半期	2,269	1,306	57.6
2023年8月期	2,712	1,345	49.6

(参考) 自己資本 2024年8月期第2四半期 1,306百万円 2023年8月期 1,345百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2024年8月期	—	0.00	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,200	6.1	60	1.8	55	11.6	30	△15.1	2.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2024年8月期の通期業績見通しは、各事業の見通しに基づき予測する数値となっております。各事業の進捗並びに業績に与える影響を精査の上、当該連結業績予想に変更が生じた際は、速やかに訂正・開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期2Q	11,300,000株	2023年8月期	11,300,000株
② 期末自己株式数	2024年8月期2Q	1,221,110株	2023年8月期	1,221,077株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期2Q	10,078,921株	2023年8月期2Q	10,078,923株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載される業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績のご利用に当たっての注意事項等に関しては、添付資料「1. 経営成績・財務状態に関する分析」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、経済活動の正常化が進んだことにより、雇用情勢や個人消費に持ち直しの動きが続いており、緩やかな回復基調を維持しました。一方、原料・資源コストの高騰等による物価上昇や、景気の急回復に伴う労働力確保の難しさが、企業活動等の推進に影響を及ぼしています。

このような情勢の中、当社グループは、「占いの企業」から「働く女性を応援する企業」への変容を目指し、既存事業の収益維持・拡大、及び新規事業の育成に注力してまいりました。占い事業において売上を維持したものの、広告宣伝費、人件費及びソフトウェア償却費の増加の他、M&A検討に係る費用及び新規サービス立案に向けた市場調査費が利益を押し下げ、損失を計上しております。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,038百万円(前年同期比1.0%増)、営業損失1百万円(前年同期は営業利益30百万円)、経常損失3百万円(前年同期は経常利益25百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失8百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益18百万円)となりました。

セグメントごとの取組み内容及び経営成績は、以下のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを、今後の事業展開等を踏まえ、変更しております。そのため、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。詳細は、下記及び「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)セグメント情報」の「II 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

#### ① 占い事業(旧: デジタルコンテンツ事業 / One to One 事業 占いサービス)

占い事業においては、自社Webサイト、ISP、各移動体通信事業者及びApple や Google 等のプラットフォーム向けに占い鑑定や女性に向けた記事コンテンツを企画・制作・配信する1対N向けのサービス及びユーザーと占いの師が電話・チャットで直接、双方向にやり取りできる1対1向けのサービスを行っております。新規コンテンツ及び数年来売上を伸ばしてきた電話・チャットによる1対1形式の占いサービスが当第2四半期累計期間においてはやや不調となったものの、自社メディアの運用が好調であった他、各配信先向けのデジタルコンテンツにおいて、収益力のあるコンテンツの運用強化に注力したことにより、売上高は前年同期比で微増いたしました。しかしながら、広告宣伝費及び人件費の増加により、営業利益は減少しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における占い事業の売上高は979百万円(前年同期比0.8%増)、営業利益は269百万円(前年同期比3.7%減)となりました。

#### ② エンタメ・マッチングサービス事業(旧: SNS事業 / XR事業 / One to One 事業 非占いサービス)

エンタメ・マッチングサービス事業においては、SNSを中心に、ネットとリアルの両面において人々の交流・関係構築の機会や場を提供するサービスを行っております。「きゃらデン」及びシミュレーションゴルフ店舗の運営により売上は微増いたしました。また、「きゃらデン」及び「OneRoof」の新規ユーザーの獲得に係る広告宣伝費が負担となり、営業損失を計上しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるエンタメ・マッチングサービス事業の売上高は57百万円(前年同期比4.3%増)、営業損失66百万円(前年同期は営業損失79百万円)となりました。

なお、エンタメ・マッチングサービスについては、業務委託等の費用の見直しの他、運営サービスに関し選択と集中を行い、赤字幅の圧縮に努めてまいります。

#### ③ その他事業(ヘルスケア/EC 他) (※)

当社グループでは、企画・開発の初期段階にある事業について、当第2四半期連結累計期間末日時点において、金額又は連結売上高若しくは連結営業利益に占める割合等から重要性が低いと判断した事業等については、一括して「その他」セグメントとして区分し、計上しております。当第2四半期連結累計期間においては、第1四半期連結累計期間に引き続き、ECサイト運営、主に女性を対象とする医療・美容事業のM&Aについて検討に注力してまいりました。ECについては、プロモーションを行っていないことから売上は軽微である一方、ソフトウェア償却費を計上しているため、営業損失を計上しております。また、その他、M&A検討において生じた費用や新規事業立案に向けた市場調査費として、10百万円を計上しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるその他の売上高は1百万円(前年同期比8.5%減)、営業損失33百万円(前年同期は営業損失4百万円)となりました。

なお、本書提出日現在において成立したM&A案件はございません。

※当社グループは、2020年8月期から2021年8月期にかけて、事業の選択と集中のため、ゲームコンテンツ事業

及びインバウンド・アウトバウンド事業から撤退しておりますが、一部については取引等を継続しております。当第2四半期連結累計期間において発生したこれらの撤退事業に関連する取引等の売上についても、一括して「その他」セグメントとして区分し、計上しております。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の当社グループの財政状況は以下のとおりです。

なお、資本の財源及び資金の流動性にかかる情報については、当第2四半期連結累計期間において、重要な変更等はございません。

#### (資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して442百万円減少し、2,269百万円となりました。

これは主に、現金及び預金の減少535百万円、売掛金の減少39百万円及び無形固定資産の増加51百万円によるものです。

資産の内訳は、流動資産1,784百万円、有形固定資産25百万円、無形固定資産184百万円及び投資その他の資産274百万円となっております。

#### (負債の状況)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して403百万円減少し、963百万円となりました。

これは主に、1年内返済予定の長期借入金の返済125百万円及び長期借入金の返済256百万円によるものです。

負債の内訳は、流動負債721百万円、固定負債241百万円となっております。

#### (純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比較して39百万円減少し、1,306百万円となりました。

これは主に、利益剰余金の減少39百万円によるものです。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して535百万円減少し、1,491百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況とそれらの主な増減要因は以下のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、54百万円の収入(前年同期は60百万円の収入)となりました。これは主に、減価償却費20百万円及び売上債権の減少39百万円によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、178百万円の支出(前年同期は37百万円の支出)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出74百万円及び長期貸付による支出100百万円によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、412百万円の支出(前年同期は527百万円の支出)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出382百万円及び配当金の支払い30百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、長年当社の事業の中心であった占いコンテンツ企画・制作企業から、当社事業のコアユーザーである20代から40代を中心とした現役世代の女性たちを多面的に応援する企業への変容を目指します。具体的にはヘルスケア領域への進出並びにSNS事業収益を伸長させるべく事業投資を行い、安定的かつ長期的な収益の確保及び経営の多角化を推進いたします。

また、財務面に関しては、これまで同様、資産の透明性を確保し、新規事業への挑戦を安定した内部留保によって下支えする健全な経営を行う考えであります。

なお、各事業別の見通し及び2024年8月期の通期業績見通しにつきましては、2023年10月6日の「2023年8月期決算短信」で公表しました通期業績予想に変更はありません。これらの数値は、各事業の見通しに基づき予測する数値となっております。従って、新規事業の進捗に変更がある場合、利用ユーザー数が大幅に見込みを上回る若しくは下回る場合又は当社グループ事業に関連する法令が改正されあるいは情勢が変化した場合、変動する可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,027,423	1,491,944
売掛金	273,217	234,084
商品	57	57
仕掛品	4,157	2,884
貯蔵品	291	292
その他	58,627	55,937
貸倒引当金	△570	△659
流動資産合計	2,363,205	1,784,541
固定資産		
有形固定資産	29,130	25,161
無形固定資産	132,885	184,678
投資その他の資産		
敷金及び保証金	92,605	94,757
その他	94,635	180,438
貸倒引当金	△235	△235
投資その他の資産合計	187,005	274,961
固定資産合計	349,021	484,801
資産合計	2,712,227	2,269,342
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	56,780	52,721
1年内返済予定の長期借入金	629,896	503,972
未払費用	44,145	35,855
未払法人税等	6,154	5,970
未払消費税等	6,694	13,372
その他	125,148	109,541
流動負債合計	868,819	721,432
固定負債		
長期借入金	498,018	241,642
固定負債合計	498,018	241,642
負債合計	1,366,837	963,074

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	451,459	451,459
資本剰余金	422,578	422,578
利益剰余金	986,491	947,396
自己株式	△514,204	△514,212
株主資本合計	1,346,325	1,307,223
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△935	△955
その他の包括利益累計額合計	△935	△955
純資産合計	1,345,389	1,306,267
負債純資産合計	2,712,227	2,269,342



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年9月1日 至2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年9月1日 至2024年2月29日)
売上高	1,028,248	1,038,555
売上原価	501,055	513,639
売上総利益	527,193	524,915
販売費及び一般管理費	496,562	526,613
営業利益又は営業損失(△)	30,631	△1,697
営業外収益		
受取利息	11	2,091
その他	235	364
営業外収益合計	247	2,456
営業外費用		
支払利息	4,903	4,459
その他	26	3
営業外費用合計	4,929	4,463
経常利益又は経常損失(△)	25,948	△3,704
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	25,948	△3,704
法人税、住民税及び事業税	2,190	1,133
法人税等調整額	5,625	4,020
法人税等合計	7,816	5,153
四半期純利益又は四半期純損失(△)	18,132	△8,858
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	18,132	△8,858

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	18,132	△8,858
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△9	△19
その他の包括利益合計	△9	△19
四半期包括利益	18,122	△8,877
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,122	△8,877

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	25,948	△3,704
減価償却費	15,375	20,656
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△189	89
受取利息	△11	△2,091
支払利息	4,903	4,459
売上債権の増減額(△は増加)	24,836	39,133
棚卸資産の増減額(△は増加)	178	1,271
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,015	△4,059
未払金の増減額(△は減少)	21,099	△18,067
未払費用の増減額(△は減少)	△3,518	△8,290
未払消費税等の増減額(△は減少)	△11,605	20,239
その他	△1,287	3,528
小計	71,714	53,166
利息及び配当金の受取額	11	2,091
利息の支払額	△4,723	△4,170
法人税等の支払額	△6,296	△831
法人税等の還付額	-	4,689
営業活動によるキャッシュ・フロー	60,705	54,946
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△665	△1,047
無形固定資産の取得による支出	△36,609	△74,636
長期貸付けによる支出	-	△100,000
敷金及び保証金の差入による支出	-	△2,351
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,274	△178,035
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△482,524	△382,300
自己株式の取得による支出	-	△7
配当金の支払額	△44,895	△30,057
財務活動によるキャッシュ・フロー	△527,419	△412,364
現金及び現金同等物に係る換算差額	△44	△25
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△504,032	△535,479
現金及び現金同等物の期首残高	2,384,111	2,027,423
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,880,079	1,491,944

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	占い事業	エンタメ・マッ チングサービス 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	971,579	55,355	1,026,934	1,314	1,028,248	—	1,028,248
外部顧客への売上 高	971,579	55,355	1,026,934	1,314	1,028,248	—	1,028,248
セグメント間の 内部売上高又は振 替高	—	—	—	—	—	—	—
計	971,579	55,355	1,026,934	1,314	1,028,248	—	1,028,248
セグメント利益又は セグメント損失(△)	279,471	△79,795	199,676	△4,482	195,194	△164,563	30,631

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゲーム事業などを含んでおり  
ます。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△164,563千円には、各報告セグメントに配分していない  
全社費用164,563千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	占い事業	エンタメ・マッ チングサービス 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	979,611	57,741	1,037,352	1,202	1,038,555	—	1,038,555
外部顧客への売上 高	979,611	57,741	1,037,352	1,202	1,038,555	—	1,038,555
セグメント間の 内部売上高又は振 替高	—	—	—	—	—	—	—
計	979,611	57,741	1,037,352	1,202	1,038,555	—	1,038,555
セグメント利益又は セグメント損失(△)	269,220	△66,001	203,218	△33,074	170,143	△171,841	△1,697

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EC事業などの事業を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△171,841千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用171,841千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

今後の事業展開等を踏まえ報告セグメントの見直しを行い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「デジタルコンテンツ事業」、「One to One事業」、「XR事業」、「SNS事業」の4区分から、「占い事業」、「エンタメ・マッチングサービス事業」の2区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

(多額な資金の借入)

当社は、2024年3月27日開催の取締役会において、次のとおり資金の借入を決議し、2024年3月29日付で借入を実行しております。

(1) 用途

長期運転資金

(2) 借入先の名称

株式会社三井住友銀行ほか4金融機関

(3) 借入金額

900,000千円 (内503,972千円は1年内返済予定の長期借入金に係る返済資金に充当いたします。)

(4) 借入条件

市場金利等を参考にして決定されております。

(5) 借入実行日

2024年3月29日

(6) 借入期間

3年

(7) 担保提供資産又は保証の内容

無